学校番号	1301

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校で学んだ知識を活かしつつ造形表現における基礎的な技術、技法を学習します。
・「絵画・立体」「デザイン」「映像メディア表現」「鑑賞」など、立体・平面作品の制作を通してバランスよく学習します。
・クラスメイトと作品を見せ合い評価しあう中で、それぞれの見方、感じ方の違いを共有し、表現に対する理解を深めます。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を知り、美術作品の鑑賞や制作への興味、関心を高めるとともに美術を愛好する心情を育む。また、美術文化にも触れて理解を深める。
【知識及び技能】
造形作品や材料・用具の知識や技術を理解し、鑑賞や表現することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
形的な良さや美しさ、表現の意図や創意工夫している部分などについて考えを深め、主題を追求して創造的に表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
創造活動の喜びを味わい、主体的に自らの学習状況を把握し、粘り強く取り組りくむ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象をとらえる造形的な視点について、知識や技術を理解し、活用することができる。 ・扱う材料や用具の特性を生かし、表現することができる。	造形的な良さや美しさ、表現の意図や創意工夫している部分などについて考えを深め、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。 ・主題を追求して創造的に表現している。	・創造活動の喜びを味わい、主体的に取り組もうとしている。 ・主体的に自らの学習状況を把握し、粘り強く取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
ステージ1	オリエンテーション	授業のきまり 内容説明 教材配布	a 授業のきまりを把握できているか。 b 教材の使い方を理解し、使い方を想像する。 c プリントに説明した内容を書けているか。	プリント	プリント	プリント 授業態度
	レタリング	書体とその表現効果 レタリング練習プリント 名前のレタリング制作	a 書体について知り、その効果について理解するよう取り組めたか a・c レタリング技術を習得できたか b 文字の美しさや面白さを表現することができたか	プリント 作品	プリント 作品	プリント 作品 授業態度
	デザイン基礎	色彩基礎 色彩マップ制作	a 色彩効果について理解しようと取り組め c 作品完成に向けて丁寧に取り組めたか bc 他者の作品に触れ、感想を述べることができたか	プリント 作品	プリント 作品	プリント 作品 授業態度
	作品作家研究（鑑賞）	教科書の中の作品を一つ選び、模写し作家について調べる。	bc 美術・工芸作品などの表現の工夫を理解し、そのよさを感じ取り自分のことばで表現することができたか a 色鉛筆での混色や塗り方を考え、制作に生かせているか。	プリント 作品	レポート	作品
ステージ2	自画像制作「浮世絵の描法」	アイデアスケッチ 浮世絵の描法の模写 自画像制作	a 江戸の時代背景と浮世絵の描法を学び取れているか。 b 自分らしさを限られた技法の中で効果的に表現することができたか a・b 自分の作品の内容に沿った表現方法を選択し、作品の効果を高めることができたか b・c 他者の作品に触れ、感想を述べることができたか	プリント 作品	プリント 作品	プリント 作品 授業態度

	立体表現（ポップアップカード）	色画用紙に、文字をレタリングで描き、立体的に浮かびあがらせる。	a 紙の特性を生かした表現ができたか。 A カッターナイフや定規を適切に使えたか。 ｂレタリングの知識を活かし、効果的に表現することができたか a・b 自分の作品の内容に沿った表現方法を選択し、作品の効果を高めることができたか b・c 他者の作品に触れ、感想を述べることができたか	プリント 作品	プリント 作品	プリント 作品 授業態度
ステージ3	切り絵（自画像）	アイディアスケッチ 下絵制作 切り絵制作	a 紙の特性を知り、積極的に取り組むことができたか a カッターナイフやのりを適切に使えているか。 b 色彩の知識を活かし、効果的に表現することができたか c 自分の作品の内容に沿った表現方法を選択し、作品の効果を高めることができたか	プリント 作品	プリント 作品	プリント 作品 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度